

## フィッチ、ニッシンのスペシャル・サービサー格付を格下げ、 格付ウォッチの対象に

フィッチ・レーティングスー東京/ニューヨーク/シンガポールー2008年12月12日：

フィッチ・レーティングス（フィッチ）は、ニッシン債権回収株式会社（ニッシン）のASETバックト・スペシャルサービサー格付を「ABSS3+(JPN)」から「ABSS3(JPN)」に、コマースルモーゲージ・スペシャルサービサー格付を「CSS3+(JPN)」から「CSS3-(JPN)」(CSS3-(マイナス)(JPN))にそれぞれ引き下げた。また、これらの格付を格付ウォッチ・ネガティブの対象とした。

今回の格下げおよび格付ウォッチは、ニッシン及びその親会社である NIS グループ株式会社（NISG）の厳しい事業環境等から引き続き生じている財務上の懸念を反映している。フィッチは NISG に対して公式に格付を付与していないが、財務の状況は、フィッチのサービサー格付分析における重要な構成要素である。

フィッチはニッシンのサービサー格付の定期見直しを行い、ニッシンが当該格付に応じたサービサー能力を保持していることを確認した。また、ニッシンが引き続き安定した経験豊富な経営陣を有しており、内部統制の向上に注力するなど、効率化のための経営努力を行っていることを認識している。

ニッシンは NISG の連結子会社であり、東京証券取引所マザーズ市場に上場している（NISG は所有するニッシン株の一部を譲渡する予定であることを公表している）。2001年7月に設立され、同年10月に法務省の許可を取得して有担保、無担保の貸出債権の取り扱いを開始し、2008年3月末において4万4千件を超える債権を取扱っており、その残高は1兆5百億円を超えている。

フィッチは、日本のプライマリー、スペシャル、マスターサービサーについて取扱債権の種類別に、最上位の1（「完全な承認（全般的に優秀なパフォーマンス）」）より5（「条件付き承認」）の五段階に分けて格付している。なお、各段階に対して、+（プラス）または-（マイナス）の符号を付ける場合があるが、これら+（プラス）または-（マイナス）の符号は、その段階の中でも相対的にレベルが高いことまたは低いことを示している。また、JPN の符号は日本のサービサー格付に付けられるが、当該格付が日本の法的、経済的、社会的環境と関連していることを示すものである。格付の定義など詳細については、フィッチのレポート「日本のサービサー格付基準（2007年7月11日）」に記載されている。上記レポートはフィッチのウェブサイトで開催されている（アドレスは日本語：www.fitchratings.co.jp、英語：www.fitchratings.com）。

照会先：上野 光宏（東京）電話：03-3288-2605、神谷 久春 電話：03-3288-2701、ダイアン・ペンドレー（ニューヨーク）電話：+1-212-908-0777

メディア照会先：尾崎 千夏（東京）03-3288-2679

フィッチの格付の定義および格付に使用する用語は弊社のウェブサイト [www.fitchratings.com/](http://www.fitchratings.com/) [www.fitchratings.co.jp](http://www.fitchratings.co.jp)（日本語）に掲載されています。公表された格付、格付基準、格付手法も同サイトに常時掲載されています。フィッチの行動規範、守秘義務、利益相反、関連会社間のファイアウォール、コンプライアンス及びその他の方針・手続き等も [www.fitchratings.com](http://www.fitchratings.com) 上の「行動規範」をご覧ください。